

## 第29回原子力安全文化有識者会議 議事概要

- 開催日時 2023年2月16日(木) 14時～16時20分
- 開催場所 松江勤労者総合福祉センター「松江テルサ」 1階ホール
- 出席者 〔社外委員〕梅林委員、亀城委員、児玉委員、高尾委員、豊田委員(座長)、山浦委員  
※野津委員は書面で意見提出  
〔社内委員〕芦谷副社長、北野取締役  
〔幹事〕高場原子力強化プロジェクト長

### ○ 議事内容

#### 1. 開会あいさつ(高場幹事)

- ・当社におきましては、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により燃料・電力市場価格が高騰したことから、連結決算で過去最大の赤字の見通しとなっています。こうした中、本年4月以降、多くのお客さまに電気料金の値上げをお願いすることとなり、お客さまに更なるご負担をおかけすることを大変心苦しく思っております。
- ・昨年末に高圧および特別高圧電力の供給に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会から意見聴取通知書を受領いたしました。お客さまおよび地域の多くの方々にご心配、ご迷惑をおかけしていることに対し、心よりお詫び申し上げます。本件については、現在も公正取引委員会の調査が続いており、当社においても第三者の弁護士の指導の下で調査を続けているところであるため、皆さまへのご説明には、今しばらく時間をいただきたいと思っております。
- ・先月発表した、中国電力ネットワーク株式会社が管理する当社以外の小売電気事業者のお客さま情報を当社が閲覧していた事案については、当社としても深く反省し、今後、関係機関の報告徴収等に対して適切に対応してまいります。
- ・島根原子力発電所2号機については、原子力規制委員会から原子炉設置変更許可を受け、昨年には島根県知事から事前了解を受領するとともに、すべての関係自治体による再稼働容認のご判断をいただきました。現在、原子力規制委員会の審査と並行して、引き続き安全第一で安全対策工事に全力で取り組んでいるところです。
- ・原子力の稼働にあたっては、地域の皆さまからの信頼が何より重要です。「社員一人ひとりが、それぞれの職場において日々誠実に業務に取り組み、全社一丸となって原子力安全を追求することが信頼につながる」ことを、いま一度肝に銘じて協力会社と一体となって取り組んでまいります。
- ・本日は委員の皆さまから忌憚のないご意見・ご提言を賜り、それを今後の取り組みに反映させ、原子力安全文化醸成の一層の強化に努めてまいりたいと考えております。

#### 2. 議事

##### (1) 点検不備問題に係る再発防止対策の実施状況・評価ほかについて

資料にもとづき、井田電源事業本部部長および川本原子力強化プロジェクト部長から説明し、質疑を行った。

主な意見は以下のとおり。

[「お客さま視点の価値観を認識する機会の拡大」に関する意見]

- ・参加者の感想に「感謝されることへの喜びを感じる」とあり、このような感謝経験を得る機会が日常の中で設けられていることは、心身の健康にもつながる良い取り組みである。
- ・このような活動は、中国電力の社員だけで行うのではなく、地元の方に声をかけながら一緒に行えば、より効果が高まるのではないかと。

[その他意見]

- ・2号機の再稼働が目前となった大事な時期なので、気を緩めることなく緊張感を持って業務を行ってほしい。また、上司もきめ細かなサポートをしてほしい。
- ・国の原子力政策が大きく転換し、原子力にとって追い風の状況にあるが、一方で「たがが緩む」という状態が生まれる可能性がある。こういう時期だからこそ、初心に帰るような意識を更に持って業務運営にあたってほしい。
- ・今は「変化にいかに対応するか」という経営が一番求められる。「変化に対応する」という意味でリスクとなるのは、コンプライアンスや安全に関する問題であり、いかにリスクに対して敏感になるかが重要である。

## (2) 原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて

資料にもとづき、井田電源事業本部部長から説明し、質疑を行った。  
主な意見は以下のとおり。

- ・次代を担う世代が自律的に安全文化に取り組んでいかないことには、上の世代があれこれ教訓を伝えていっても、決して腹落ちすることはない。「若い世代が、自分たちと同世代の人と共感しながら動いていく」という水平構造的な取り組みをどこまで作り出せるかということがキーポイントになる。
- ・社員は様々なストレスに晒されていると思うが、逆境を克服して成長に変えるような「しなやかな折れない心」や「レジリエンス」を育むような教育や講演会などの実施も必要ではないかと。
- ・原子力安全文化というもの、そして安全に対して「これでいい」ということはないので、下りのエスカレーターを昇っているような気持ちで、気を緩めずに取り組んでほしい。

## (3) 情報提供：島根原子力発電所 新規制基準適合性審査の状況ほかについて

資料にもとづき、三村電源事業本部部長から情報提供を行った。

#### (4) 情報提供：島根原子力発電所3号機の人エリーフ併用防波護岸による藻場造成を活用したJブルークレジットの認証について

資料にもとづき、川本原子力強化プロジェクト部長から情報提供を行った。

主な意見は以下のとおり。

- ・ブルーカーボンの取組みは非常に前向きな内容であり、これをもっと推し進めて全国各地の原子力発電所に広めることができれば、原子力に対する誤解や偏見といったものが少しでも解消すると思うので、ぜひとも大いに取り組んでほしい。

### 3. 閉会あいさつ（高場幹事）

- ・本日は様々なご意見やご提言を賜り感謝申し上げます。
- ・いただいたご意見やご提言として、「島根原子力発電所2号機の再稼働が目前となった大事な時期であるので、気を緩めることなく緊張感を持って業務を行ってほしい。また、上司もきめ細やかなサポートをしてほしい」「リスクに敏感になる必要があり、リスクに関しては、コンプライアンスと安全が最も重要である」「安全文化というのは将来長く構築していくべきものであり、若い人たちが自律的に行動し考えていくことが必要であり、そのためには同世代が共感できる取組みがキーポイントとなる」「感謝をされる経験というのが大切であり、その意味で地元での活動というのは良い取組みである」「社会貢献活動というのは社員だけではなく、地元の人と一緒にやるのが大切であり、ぜひ一緒に取り組んでほしい」「下りのエスカレーターを昇っている気持ちで安全対策や原子力安全文化の醸成に取り組んでほしい」等がありました。
- ・「下りのエスカレーター」のご意見は、「一生懸命に足を動かしてないと、どんどん下に落ちてしまう」という意味であると思いますので、コンプライアンスや安全面、そして原子力安全文化の醸成についても、こういう意識を忘れずに頑張っていきたいと思います。
- ・再発防止対策や原子力安全文化醸成活動の取組状況については、今後有識者会議において適宜ご報告するので、変わらぬご支援を賜るようお願い申し上げます。

以 上